

掲載新聞	日刊工業新聞社
掲載年月	2012年 11月 19日
掲載対象	セラミックロータリーキルン



セラミックス焼成炉発売

国内最大級の炉心管

杉山重工

【名古屋】杉山重工（愛知県瀬戸市、杉山大介社長、0561・48・1811）は、国内最大級のセラミックス炉心管を用いた連続焼成炉「セラミックロータリーキルン（Castell写真）」を12月1日に発売する。同管は直径610mm×長さ4000mmで、ともに同社従来比2倍。金属不純物混入を嫌う電池材料やディスプレイパネル材料を焼成できる。価格は7000万円からと、トンネル型連続焼成炉の約半額。2014年3月期に15台の販売を見込む。

炉の炉心管を1本錆込みで成形した仕様と、3本の炉心管を金属フレームで連結し炉心管破損時のメンテナンス性を高めた仕様の2タイプをそろえた。発熱体は電熱ヒーターで、最高温度は1100度C。初回投入時の昇温後は連続焼成でき、熱ロスも少ない。焼成能力は材料により異なるが、毎時500kg以上。炉心管はシールド性が高く窒素などを満たした特殊雰囲気でも安定処理できる。